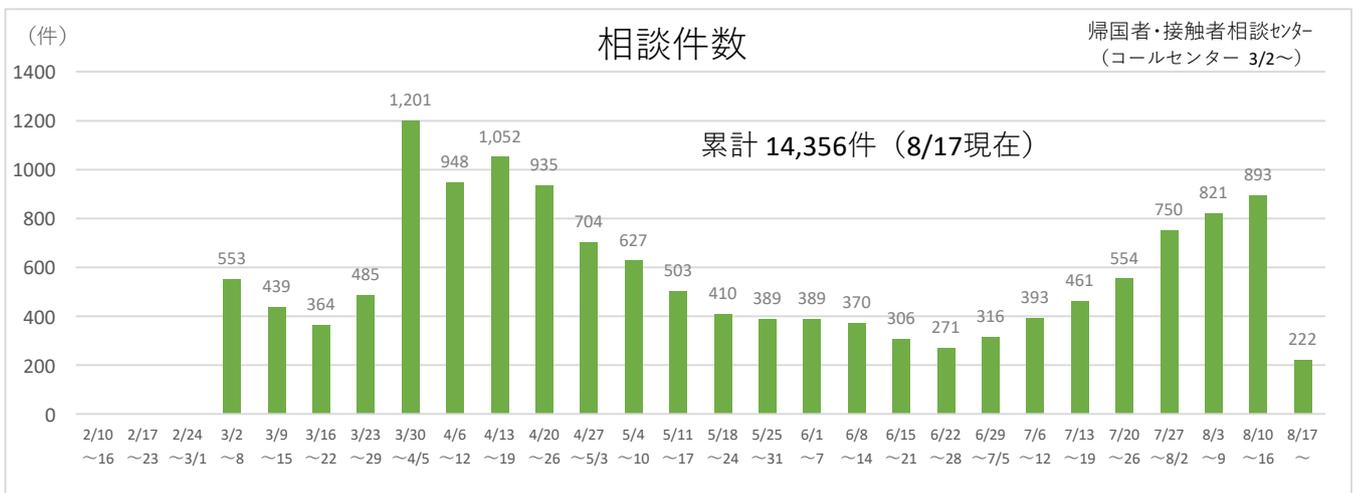
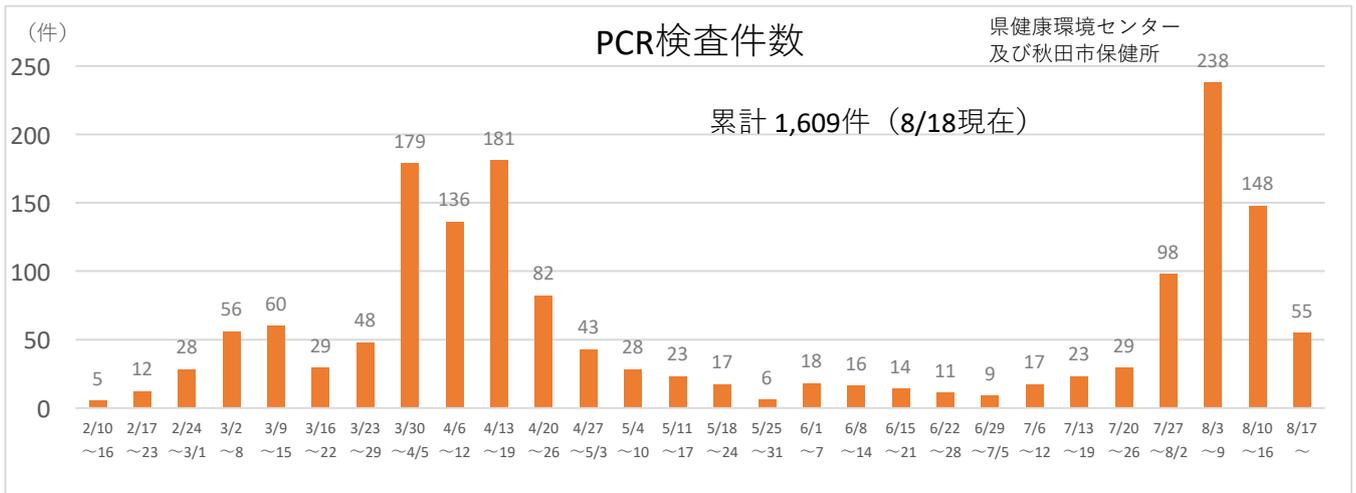
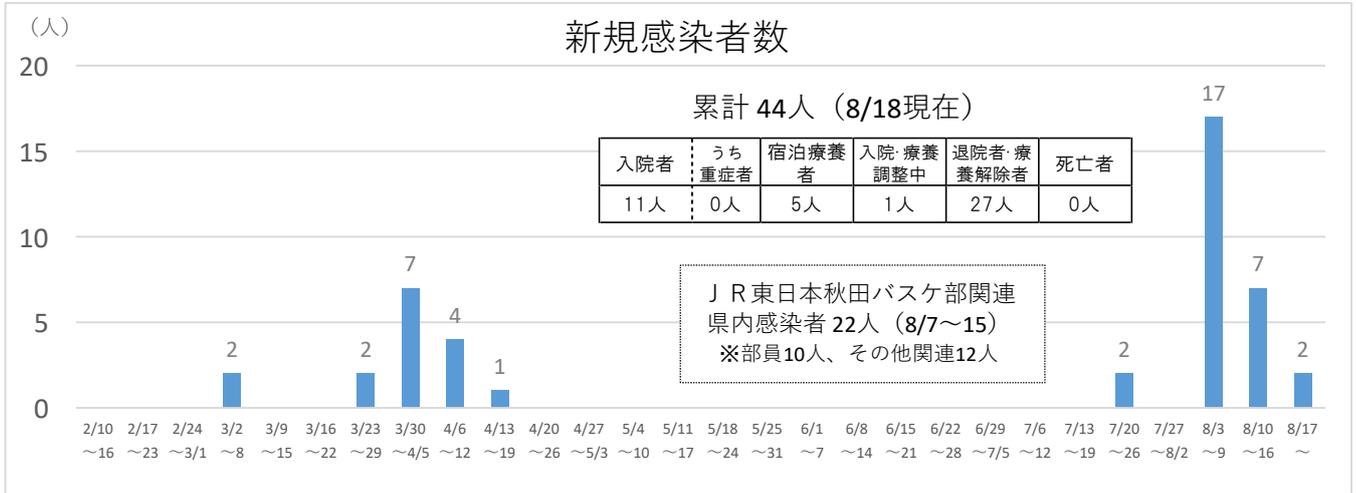
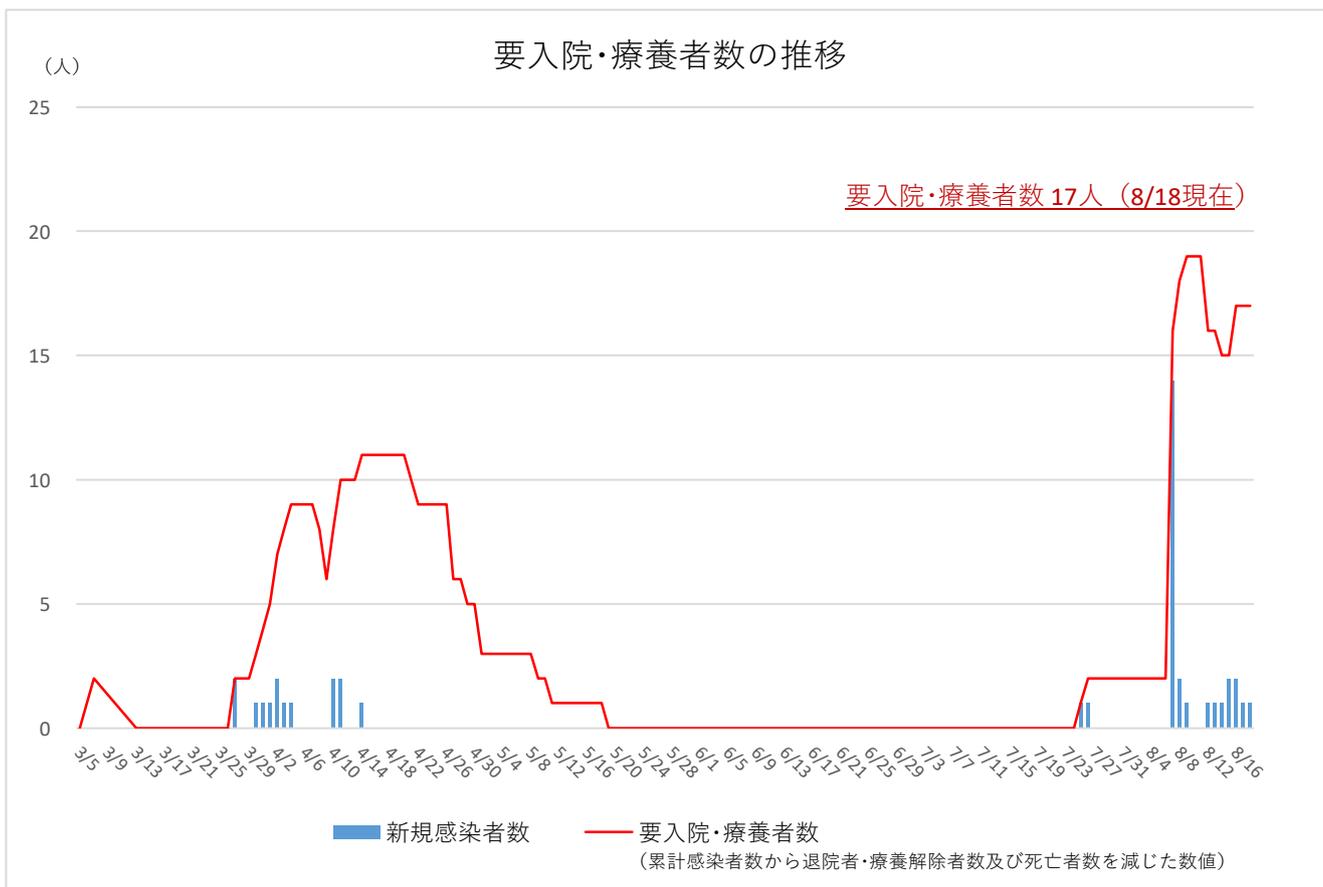


新型コロナウイルス感染者の県内発生状況等について

令和2年8月19日
健康福祉部





年代別 累計感染者数 (8/18現在)

(人)

10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
2	4	16	10	5	4	2	0	1	44

管轄保健所別 累計感染者数 (8/18現在)

(人)

大館	北秋田	能代	秋田中央	秋田市	由利本荘	大仙	横手	湯沢	計
1	0	4	0	27	7	3	1	1	44

新型コロナウイルス感染症にかかる医療提供体制等について

令和2年8月19日
健康福祉部

1 相談体制（帰国者・接触者相談センター）

○コールセンターの回線数：8回線（5/1～） ※24時間対応（3/2～）

2 検査体制

○PCR検査可能件数：200件/日 → 300件以上/日（予定）

【現状】

- 県健康環境センター、秋田市保健所、県総合保健事業団、秋田大学で200件
- ・秋田大学医学部附属病院で「PCRラボ」を開設（6/10～ 100件）
- ※このほか、医療機関において保険適用により検査可能な件数：134件

【今後】

- ・全自動検査機器を県総合保健事業団（県北・県央・県南）に配備予定（+60件）
- ・県健康環境センター及び秋田市保健所で検査機器を追加配備予定（+50件）

3 外来医療体制（帰国者・接触者外来）

○帰国者・接触者外来設置数：24か所（整備済み）

- ・既存医療機関：13か所（各二次医療圏に設置済）
- ・仮設診療所：11か所（各二次医療圏に設置済）

※鹿角市、大館市、北秋田市、能代市、男鹿市、秋田市、由利本荘市、大仙市、横手市、湯沢市に計10か所のほか、秋田周辺医療圏内に県で検体採取所を1か所設置

4 入院医療体制（感染症指定医療機関など）

○患者受入のために確保する病床数：235床（病床確保計画）

重症度別受入可能患者数 (人)

重症度別	重症	中等症Ⅱ	中等症Ⅰ 軽症	合計
受入可能患者数	27	119	89	235

※重症度分類

- ・重症：ICUに入室、人工呼吸器装着
- ・中等症Ⅱ：酸素投与が必要な状態（呼吸不全あり）
- ・中等症Ⅰ：息切れ、肺炎所見あり（呼吸不全なし）
- ・軽症：呼吸器症状なし

○軽症者等受入のために確保する宿泊療養居室：69室（病床確保計画）

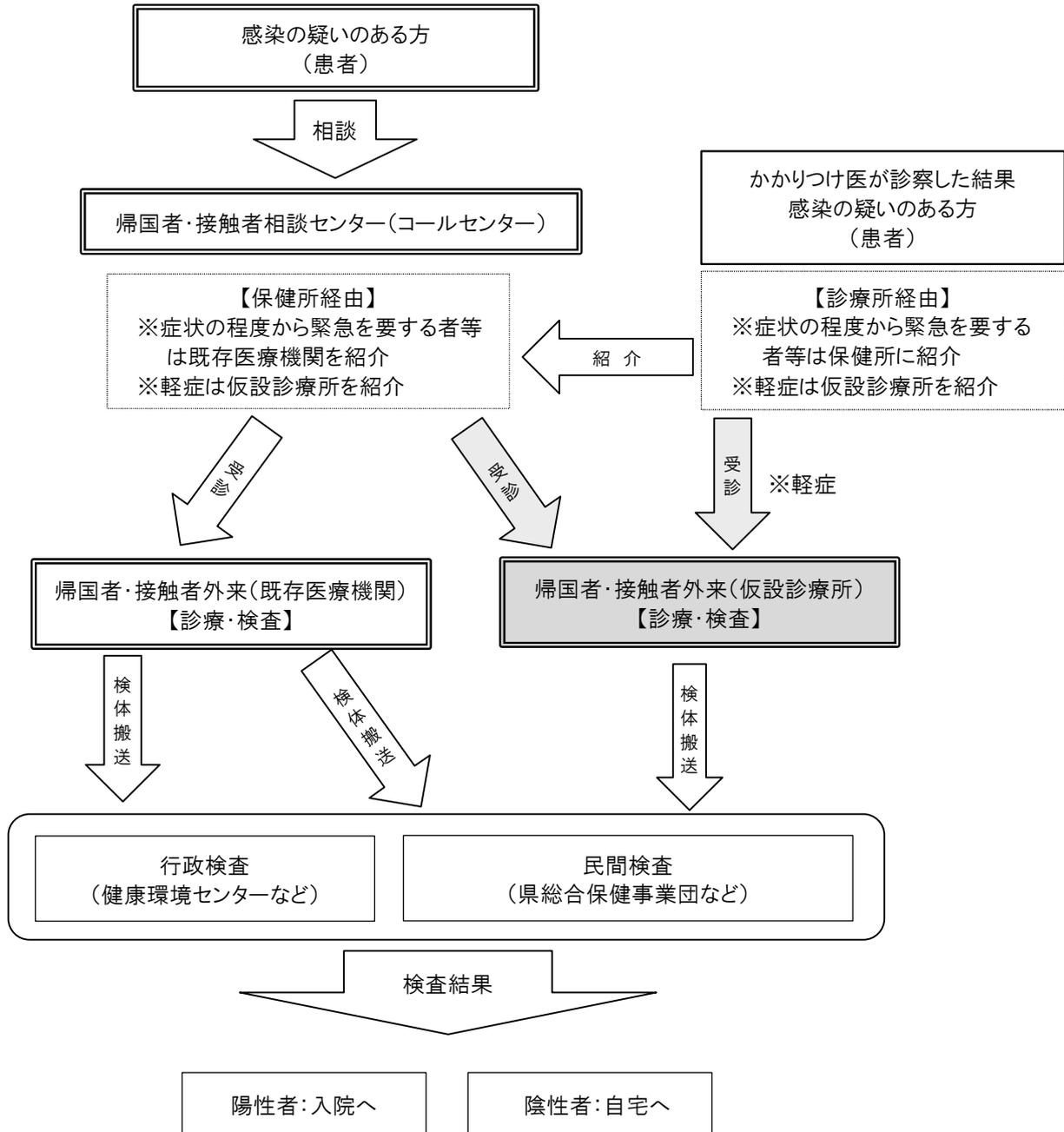
- ・ルポールみずほ（16室29人）よりも収容人数の多い施設を今後確保

※8月8日にルポールみずほを初めて活用（無症状者4人を受入）

地域別の確保病床等 (床・室)

	県北	県央	県南	合計
入院病床数(うち重症)	57(5)	110(18)	68(4)	235(27)
宿泊療養居室	0	69	0	69
計	57	179	68	304

【参考1】 外来診療・検査 フロー図



<留意事項>

- ・かかりつけ医は、患者に感染の疑いがあれば、保健所を紹介するが、軽症者に限っては仮設診療所へ紹介できる。
- ・保健所の負担軽減と軽症者の速やかな診療・検査を促すための運用であり、かかりつけ医を相談窓口とするものではない。
- ・この運用の実施については、感染者等の推移を見ながら、市町村・郡市医師会・保健所間で協議の上、決定する。
- ・県民に対しては、感染の疑いがある場合は、まずは帰国者・接触者相談センターへ相談するよう、引き続き周知していく。

【参考2】病床確保計画の概要

1 概要

今後、県内で感染が拡大する局面を見据え、国から示された「新たな流行シナリオ」に基づき、療養者数（感染者）を推計し、それに対応する病床を確保するための病床確保計画を策定。

2 新たな流行シナリオ

国内におけるこれまでの患者発生動向や、感染拡大防止のための社会への協力要請の効果を踏まえ、今後の感染者数について時系列データの推移を示したものの。

3 選択した推計モデル

項目	本県における選択値
①推計モデル	高齢者群中心モデル
②社会への協力要請前の実効再生産数（R） （1.7又は2.0）※ ¹	1.7
③社会への協力要請のタイミング	基準日※ ² から1日後

※¹ 実効再生産数(R)：1人の感染者が平均何人に感染させるかを時点に応じて求めるもの。
（令和2年3月時点の東京都のR=1.7を基本とする。）

※² 基準日：10万人あたり2.5人/週の感染者が発生した日（本県では、25人/週に達する日）

4 療養者数の推計を踏まえたフェーズ、病床等の設定

感染者がピークに至るまでの間を5つのフェーズで区切り、県内の感染者発生状況等から、フェーズの切り替え基準を設定し、フェーズごとの推計療養者数に対応すべき即応病床（即時受入が可能）、準備病床（一定の準備期間で使用可能）及び宿泊療養居室を設定。

(人、床・室)

フェーズ分類		フェーズ1	フェーズ 2a	フェーズ 2b	フェーズ3	フェーズ4
フェーズ 切り替え基準	県内感染者 無し	県内感染者 1名発生	新規感染者数 7人/週	新規感染者数 25人/週	新規感染者数 50人/週	
	国内感染者 発生	県外での感染可 能性が高い事例 に限定	県内で市中感染 疑い例が1例で も発生	市中感染事例 が拡大し、リス クが高まっている	感染が拡大し、感 染経路不明者も 多く、クラスター 発生のおそれもある	
流行 シナ リオ	シナリオ上の経過日数	1日目	15日目	20日目	29日目	35日目以降 ※ピークは52日目
	推計最大療養者数	0	8	32	69	243
	入院患者(うち重症)	0	5(0)	19(3)	45(6)	176(26)
病床 確保 計画	即応病床(うち重症)	30(1)	41(6)		118(14)	235(27)
	準備病床(うち重症)	11(5)	77(8)		117(13)	—
	宿泊療養居室	69	69		69	69

病床確保計画（イメージ図）

